あぐろかわら版

第2号（平成21年３月２日発行）

本かわら版では、東京農工大学アグロイノベーション高度人材養成センターの活動情報を発信します。

「イノベーションと人材育成に関する特別講演会」を開催

平成21年1月16日（金）、21世紀の諸問題に関わる技術革新、産業創出、社会提言ができる、優れたイノベーション人材を育成していくことをテーマに「イノベーションと人材育成に関する特別講演会」を開催しました。

本講演会では、SRIインターナショナル（旧スタンフォード研究所）のDr. Curtis R. Carlson 社長兼CEO、日本代表唐津治夢氏をお招きし、「実社会におけるイノベーションの原則」について講演が行われ、小畑学長や養成対象者をはじめ約100名が参加しました。

SRIインターナショナルは1946年にスタンフォード大学によりStanford Research Instituteの名称で設置され、マウスの発明をはじめとする革新的技術の開発はもとより、学習障害の子供の生活改善から国家の安全保障に至る幅広い分野で長年にわたり社会のイノベーションに貢献している世界で最も大きな研究機関のひとつです。（詳しくはホームページまで: www.sri.com/innovation/）

特別講演「実社会におけるイノベーションの原則」

Dr. Curtis R. Carlson社長より、同時通訳のもと、イノベーションの定義やその実現プロセスについて、具体的な事例を示しつつ、参加者全員の意識・意見を確認しながら、核心的かつ簡潔・明瞭な講義がなされました。

さらに、フィンランドやシンガポール等など、限られた資源の下でグローバルな国際競争で勝ち抜くべく、人材育成に力を入れている国々と日本を比較しながら、日本におけるイノベーション教育の必要性とそのあり方について、特に大学が考慮すべき重要な要素にまで踏み込んだ指摘がなされました。

参加者の声

「期待をはるかに超える内容だった」
「米国でもイノベーションを理解している人がほとんどいないという言葉に、イノベーションに対する興味が大きく膨らんだ」

今後本センターでは、SRIインターナショナルの協力のもと、博士人材へのイノベーション教育を強化していきます。

実践プログラム　続報

森林組合の経営力を分析　～安藤範親さん～

安藤さんは東京農工大学大学院連合農学研究科の博士後期課程に在籍中で、森林経営学を専攻しています。現在、株式会社農林中金総合研究所で研修を行っています。

上司の方に分析の進捗状況、手法について説明している安藤さん

現場から安藤さんのコメント

全国の森林組合の経営力分析を行なっています。森林組合の経営力とは何か？クライアントのニーズを探りながらの作業です。

突然ミーティングという場面もあるため、いつでも分析状況をプレゼンできるようにしておく必要性があります。

これは、大変な様に感じますが、常に誰にでも説明できる体制を整えておくことは、作業の理解を深め、分析の役に立っています。

上海への業務展開とクライアントコミュニケーション　～格根塔娜さん～

格根さんは東京農工大学大学院連合農学研究科の博士後期課程に在籍中で、生物有機化学を専攻しています。現在、日本分光株式会社、ジャスコインタナショナル株式会社で研修を行っています。

担当者の方に指導を受けながら翻訳業務を行う格根さん

現場から格根さんのコメント

上海での販売展開に伴う現地クライアントからの相談や要望に対応しています。見積書を中国語で作成することもあります。
さらに、日本語で書かれた各種分析機器の資料や取扱説明書を中国語に翻訳しています。

質問や相談は分析機器の仕組み等に及ぶことが多いですが、これまでに得た知識、経験が非常に役に立っています。

クライアントとコミュニケーションを取ることによって、会社とクライアントの関係性をより理解できるようになりました。

当センターでは、引き続き博士後期課程、博士号取得者の方々がイノベーション人材として社会で活躍するための実践プログラム実施を進めて参ります。養成者の公募等につきましては下記ホームページもぜひご覧ください。

ご質問・お問い合わせは下記まで
東京農工大学アグロイノベーション高度人材養成センター
〒183-8509　東京都府中市幸町3-5-8　東京農工大学連合農学管理研究棟2階206
TEL/FAX: 042-367-5618/042-367-5621　E-mail: agro-inn@cc.tuat.ac.jp
ホームページ: http://www.tuat.ac.jp/~agroc/

振興調整費　東京農工大学